

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る  
事後調査（廃棄物等受入前調査）

報 告 書

（平成 21 年 2 月分）

平成 21 年 3 月

大 阪 市 港 湾 局  
大阪湾広域臨海環境整備センター

## 目 次

### 事後調査の概要

- 1．調査概要 - 1
- 2．調査結果の概要 - 2

### 事後調査結果

- 1．水質 - 1

## 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 21 年 2 月（水質）の事後調査の概要は表 - 1 に、調査地点の位置は図 - 1 に示すとおりである。

表 - 1 事後調査の概要（平成 21 年 2 月）

環境項目	調査項目	調査地点等	調査期間等
水質	処分場周辺	6 点（13～18）×2 層 上層：海面下 1m 下層：海底面上 2m	平成 21 年 2 月 3 日

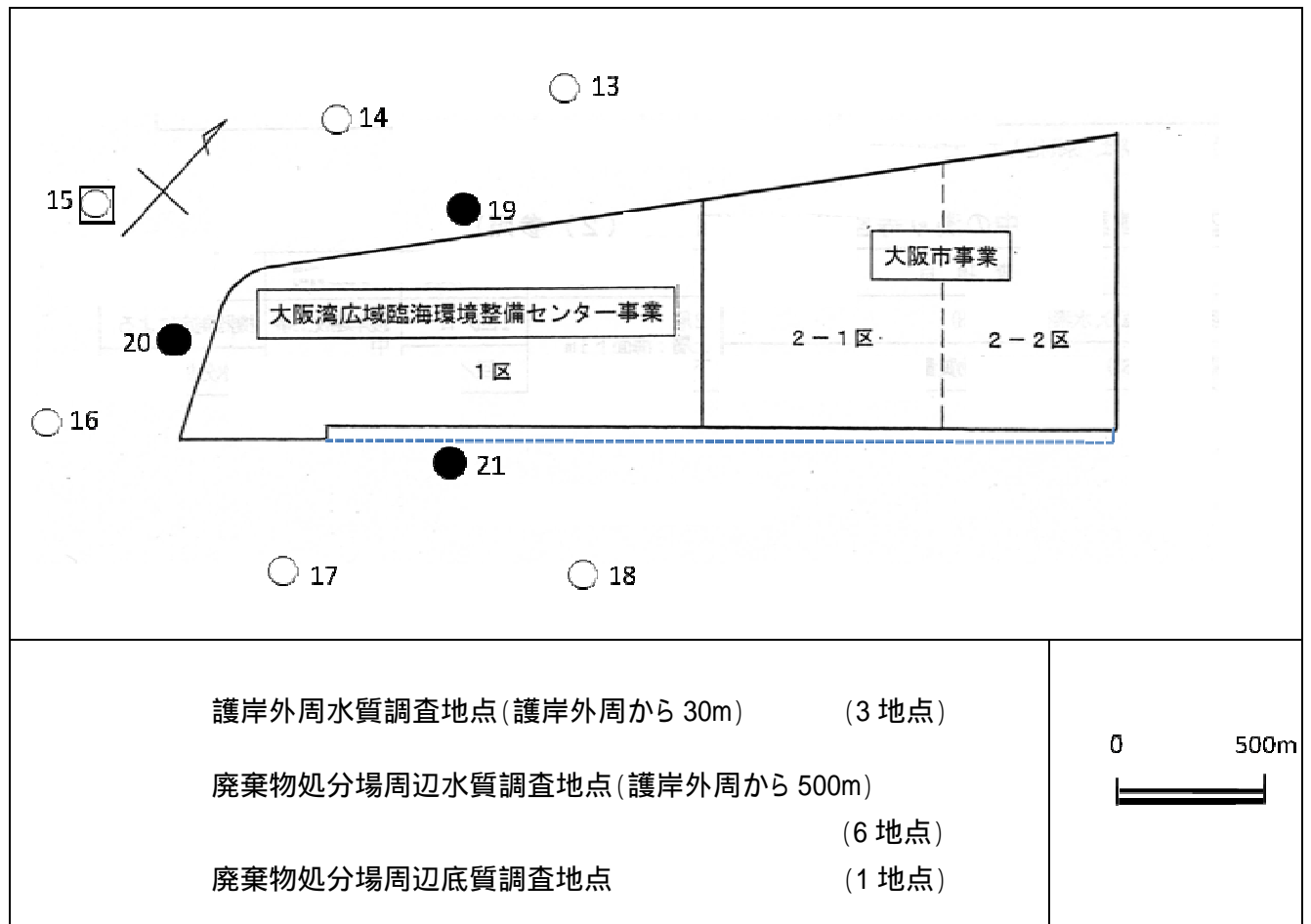


図 - 1 調査地点(水質(護岸外周、処分場周辺)、底質)

## 2 . 調査結果の概要

### (1) 水質（処分場周辺）

#### 【濁度】

濁度は上層で 2～4 度(カリ)、下層で報告下限値未満〔<1 度(カリ)〕～2 度(カリ)の範囲であった。

#### 【浮遊物質（SS）】

浮遊物質（SS）は上層で 2～4mg/L、下層で 1～4mg/L の範囲であった。

#### 【不揮発性浮遊物質（FSS）】

不揮発性浮遊物質（FSS）は上層で 1～2mg/L、下層で報告下限値未満（<1mg/L）～2mg/L の範囲であった。

#### 【水素イオン濃度（pH）】

水素イオン濃度（pH）は上層でいずれも 8.2、下層で 8.2～8.3 の範囲であった。

#### 【化学的酸素要求量（COD）】

化学的酸素要求量（COD）は上層で 2.1～2.8mg/L、下層で 1.5～2.3mg/L の範囲にあり、上層、下層とも全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

#### 【溶存酸素量（DO）】

溶存酸素量（DO）は上層で 9.3～10mg/L、下層で 8.9～9.5mg/L の範囲にあり、上層、下層とも全ての調査地点で環境基準を満足していた。

#### 【全窒素（T-N）、全燐（T-P）】

全窒素（T-N）は上層で 0.53～1.3mg/L、下層で 0.21～0.40mg/L の範囲にあり、全燐（T-P）は上層で 0.040～0.094mg/L、下層で 0.014～0.033mg/L の範囲にあった。

#### 【カドニル a】

カドニル a は上層で 2～4 μg/L、下層で 1～4 μg/L の範囲にあった。

#### 【n-ヘキサン抽出物質】

n-ヘキサン抽出物質は全ての調査地点で報告下限値未満（<0.5mg/L）であった。

#### 【大腸菌群数】

大腸菌群数は  $7.9 \times 10^2 \sim 1.3 \times 10^3$ MPN/100mL の範囲であった。

《 参 考 》 環境基準（本報告関係分）

水質

類型	項 目	基 準 値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 水素イオン濃度、化学的酸素要求量及び溶存酸素量の基準値は日間平均値、  
全窒素及び全燐の基準値は、年間平均値である。

## 事後調查結果

項目	調査点						最小値 ~ 最大値	平均値
	13	14	15	16	17	18		
時刻	8:40	9:00	9:15	9:40	9:55	10:10	-	-
透明度 [m]	4.4	4.3	3.8	2.3	2.9	2.9	2.3 ~ 4.4	3.4
水温 [ ]	8.1	8.0	8.1	8.0	8.0	7.9	7.9 ~ 8.1	8.0
	8.9	8.9	9.0	9.1	9.0	9.2	8.9 ~ 9.2	9.0
塩分 [-]	29.2	29.8	30.5	28.1	27.5	24.5	24.5 ~ 30.5	28.3
	30.5	32.7	32.6	32.6	32.3	32.6	30.5 ~ 32.7	32.2
濁度 [度(カウツ)]	3	2	2	3	3	4	2 ~ 4	3
	2	<1	1	2	1	<1	<1 ~ 2	1
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	2	2	2	2	3	4	2 ~ 4	3
	2	4	4	2	3	1	1 ~ 4	3
不揮発性浮遊物質量 (FSS) [mg/L]	1	1	1	1	2	2	1 ~ 2	1
	1	2	2	1	1	<1	<1 ~ 2	1
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2 ~ 8.2	-
	8.2	8.2	8.3	8.3	8.3	8.2	8.2 ~ 8.3	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	2.7	2.1	2.1	2.5	2.7	2.8	2.1 ~ 2.8	2.5
	2.3	1.5	1.8	1.8	2.2	1.7	1.5 ~ 2.3	1.9
溶存酸素量 (DO) 濃度 [mg/L]	9.3	9.6	9.5	10	9.6	9.6	9.3 ~ 10	9.6
	9.3	9.4	9.1	9.5	9.4	8.9	8.9 ~ 9.5	9.3
飽和度 [%]	95	98	98	101	97	95	95 ~ 101	97
	98	100	97	101	100	95	95 ~ 101	99
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.69	0.60	0.53	0.79	1.3	1.1	0.53 ~ 1.3	0.84
	0.27	0.27	0.21	0.40	0.37	0.29	0.21 ~ 0.40	0.30
全磷 (T-P) [mg/L]	0.052	0.051	0.040	0.054	0.094	0.081	0.040 ~ 0.094	0.062
	0.026	0.014	0.014	0.032	0.033	0.019	0.014 ~ 0.033	0.023
クロロフィル a (chl.a) [μg/L]	3	2	2	2	4	2	2 ~ 4	3
	2	1	1	1	4	2	1 ~ 4	2
n-ハク抽出物質 [mg/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5 ~ <0.5	<0.5
大腸菌群数 [MPN/100mL]	$7.9 \times 10^2$	$7.9 \times 10^2$	$1.3 \times 10^3$	$1.3 \times 10^3$	$1.3 \times 10^3$	$1.3 \times 10^3$	$7.9 \times 10^2 \sim 1.3 \times 10^3$	$1.1 \times 10^3$

注) 上段：上層（海面下1m）

下段：下層（海底面上2m）

但し、n-ハク抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項
------